



学校だより



丹波篠山市草ノ上 108 TEL558-0116 fax558-0260 令和8年2月号 No.10

「飛んで、飛んで・回って、回って」

校長 安井健二

「梅一輪、一輪ほどの暖かさ」2月も半ばになりました。先日2月3日は季節を分ける節分でしたので我が家でも豆まきをしました。豆を投げるのは当然孫。鬼はこれまた当然いじ。「喜ばせてやろう!」と思って、お面をつけて、思いっきり鬼になり切って孫の前に現れると、リアルすぎて、泣くにも泣けないくらい固まってしまいました。それを見ていた家族は、鬼に「考えてやってよ!」と一言。鬼は逃げて行きました。鬼になるのも難しいです。ほどほどが良いみたいです。

さて、2月6日～22日までの間、平和の祭典「ミラノ・コルティナオリンピック」が開催されています。スノーボード、フィギュアスケート、フリースタイルスキーを見ていると、昔流行った「飛んで、飛んで、飛んで・・・、回って、回って、回って、回る～～」という曲を心の中で口ずさみ、「何でこんなことできるん?怖すぎ!」思っていました。

しかし、どの選手もこうした技にたどり着くまでには、「恐怖に勝る勇氣(向上心)」や「挫折から這い上がる日々の努力」があったことは言うまでもないことだとも思います。

その中で、スキージャンプで銅メダルを獲得された丸山希選手は現在27歳です。アクロバット化や低年齢化が進む冬季競技の中では、決して若過ぎるという年齢ではないかもしれません。

しかも、4年前の北京五輪直前の全日本選手権で着地の際に転倒し、左前十字靭帯を負傷する大ケガを負われました。後日談では、「その時のジャンプは、競技歴の中で一番良いジャンプだった。空中の感覚は体に残っている」と言われています。見方を変えれば「より高く、より遠くへとという向上心」が「恐怖を越えて、未知なる高みの世界」へと導いた負傷だったのかもしれません。

そして、歩くことから始めたリハビリ。「ゼロから始まった」という4年間は、体に残った会心の飛躍を取り戻す旅だったようです。負傷した心と体をもう一度「恐怖」を越えて「未知なる高み」を目指すところまで戻すのは並大抵のことではなかったと思います。私の「学校だより」の紙面くらいでは伝え切れない「挫折から這い上がる日々の努力」があったことだとも思います。

五輪イヤーの今年、これまで未勝利だった丸山選手がブレイクし、「金メダルを目指したい!」と言い切れた強さの裏側には、積み重ねた練習から生まれる自信と高校生の時に病気で亡くなったお母さんが繰り返し言われていた「何かで1番になりなさい」という言葉を胸に頑張ってきた結果だとも思います。だから、メダルの色に関係なく丸山選手は丸山希らしい輝く最高のメダルを手に入れられたのでしょう。そして、今後さらに高みを目指されることだとも思います。

これから多紀っ子が歩む人生には、決して簡単には乗り越えることができなく、身震いするような恐怖心に襲われることがあるかもしれません。大ケガはしない方がいいですが、夢を叶えるためには避けて通れないこともあると思います。最後に自信になるのは自分自身の努力から生まれるのかもしれません。そこでつかんだメダルは、きっと一人ひとり違った光を放つことでしょう!

私たち教師や親は、多紀っ子が進む道の前を通りやすいように掃き進めるだけではなく、自分の歩幅で一步ずつ進んでいく姿を「見守り」「声掛け」「ちょっとひと助け」することが大切なのかもしれません。難しいものです。がんばれ多紀っ子!!がんばれ先生!!がんばれ親たち!!

「この道を行けば どうなるものか 危ぶむなかれ 危ぶめば道はなし
踏み出せば その一足が道となり その一足が道となる 迷わず行けよ 行けばわかるさ

【禅僧・一休宗純(一休禅師)の言葉より】

恒例行事になる？「豆つかみ大会」

2月4日（水）、児童会の健康委員会が企画した「豆つかみ大会」を行いました。各学年の代表4人が出場し、フタに入れた大豆を1分間に何粒おはしでお椀の中に入れられるかを競いました。代表選手は、休み時間にも自主的に練習して、本番に臨みました。代表ではない児童も大会を楽しみにしており、代表選手の練習のお手伝いをしたり、手作りの応援うちわを用意したりして、応援する児童もいました。会場は大盛り上がりで、学年を越えて絆が深まるのを感じられる時間になりました。



3年生：初めての金管クラブ



11月の「金管ありがとうコンサート」を最後に引退した6年生に代わり、3年生が初めて「金管クラブ」参加しました。「音が鳴るかな？」「ドキドキする」と緊張した面持ちの3年生に、引退した6年生が譜面台

の準備の仕方や楽器の出し入れの仕方まで丁寧に、優しく教えてくれました。多紀小学校の素晴らしい伝統が引き継がれる瞬間を目の当たりにすることができました。どのように成長してくれるのか、そしてどのような音色を奏でてくれるのかが今から楽しみです。

今年が多い？雪・雪・雪

「今年は雪が降る回数が多い？」と尋ねたくなるほど、1月、2月はよく降ったように思います。その度に雪かき。地域の方にもご協力いただきました。ありがとうございました。それでも、毎日子どもたちが滑ってケガをしないかと心配な日々でした。また、2月9日（月）は、前日からの大雪で臨時休校にしました。しかし、多紀っ子は「雪の子」と言わんばかりに、次の日の朝から雪が積もったグラウンドに出て、雪合戦や雪だるまづくりを楽しんでいました。そろそろ春の暖かい日差しが待ち遠しくなっています。



3月の主な行事 … 今年度も残り少なくなってきました。

2日（月）	参観日、学級懇談会
6日（金）	6年生を送る会
18日（水）	給食最終日
23日（月）	卒業証書授与式
24日（火）	修了式



「おでかけちるみゅー」でお餅つき体験をさせていただきました。（1～3年生）

